

「実際にやってみよう、脳のチェックリスト」

青森県薬剤師会 理事 青木 一朗

先日五所川原市開催の「認知症フォーラム」(五所川原市 オルテンシアにて)にて青森県薬剤師会西北五支部と地域保健委員会とでフォーラムに参加しました。

フォーラムは佐々木 孝昌市長と認知症フォーラム実行委員会委員長津川 信彦医師によるご挨拶と開会宣言で始まりました。

その後ステージにて各協力団体の挨拶にて青森県薬剤師会理事西北五支部幹事清水康哉、台丸谷健一両先生による本日のブースの内容が紹介されました。

当会のブースでは、「だし活」のPRと販売が行われ、{だし活}の販売はスタートして2時間足らずで完売、参加者の健康志向や高いのが伺えました。

それと認知症早期発見の目安になる匂いを嗅ぐことによる「嗅覚のチェック」も行われ、匂いの付いたカードを綿棒などで擦って4種理のにおいをかぎ分けていただくものです、反響がすごく長蛇の列で多数の方がブース押し寄せて来ました。

フォーラムのステージでは青森県薬剤師会 地域保健委員会委員 宮 昂平先生による実際にやってみよう「脳のチェックリスト(本人用)」が実施されました。

認知症の早期発見のため実施したリストはいつもお薬をもらっている、かかりつけ薬局に持参して頂くということにしております。今後の報告数が増えるのが期待されます。

これからも、委員会として各市町村開催の「認知症フォーラム」などありましたら地域の支部、薬剤師会と協力して微力ながら認知症の早期発見に貢献できればと思います。



